



大津町社会福祉協議会 非常勤職員募集

問合せ 電話096(293)2027

番号	職種	募集人員	勤務日	勤務時間	資格	雇用形態	社会保険	雇用保険	備考
1	デイサービス介護職員	1	月～土 但し、土曜勤務は 1.5ヵ月に1回程度 (月20～21日)	8:30～17:30 (8時間)	普通自動車運転免許	嘱託	有	有	月給：144,500円 150,400円(介護福祉士の場合) 介護職員手当11,000円 通勤手当有
2	デイサービス介護職員	1	月～土 但し、土曜勤務は 1.5ヵ月に1回程度 (月15日)	8:30～16:30 (7時間)	普通自動車運転免許	パートタイム	無	有	雇用期間：1年(更新あり) 時給：870円～950円 介護職員手当8,000円 通勤手当有
3	調理補助員	1	月～土 (月20～22日)	9:00～13:00 (4時間)	調理業務経験者	パートタイム	無	有	雇用期間：1年(更新あり) 時給：870円 通勤手当有
4	登録ホームヘルパー	若干名	月～土のうち 希望する曜日	8:30～17:30 のうち、 希望する時間帯	介護職員初任者研修 以上修了者 普通自動車運転免許	登録	無	無	時給：860円～1,350円 介護職員手当8,000円 通勤手当有

■雇用開始 令和5年9月を予定

■ 申込時間 午前9時～午後5時30分(日曜日を除く)

■ 申込方法 履歴書を本人が社会福補協議会へ持参してください。

■その他、申込みは随時受け付け、随時面接試験を実施する予定です。

採用状況次第で募集を締め切る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

心配ごと相談



ひとりで悩んで
いませんか？

心配ごと相談は町民の皆さまの日常生活上の悩みや困りごとなどをお伺いし、助言や専門機関のご紹介などを行っています。相談は無料で秘密は厳守いたします。お気軽にご相談ください。

〔参考〕 7目の相談は5名24件でした

日 時 每週火曜日 午後1時～午後4時

■場所 老人福祉センター内相談室

相談日	8月	9月
	15日(火)	5日(火)
	22日(火)	12日(火)
	29日(火)	19日(火)

善意の寄附 7月1日～7月31日受付分

社会福祉協議会へいたしました浄財は、皆様の意
思に沿いますよう有意義に活用させていただきます。
誠にありがとうございました。

善意銀行
米袋
ミニディ利用者へ払い出し(エコバッグ製作に使用)
合資会社中村製粉様
一社がいしゃかむらせいふんやう
匿名様
地域ごとも食堂へ払い出し

市原 左代	古庄 龍馬	安武 誠也	穴見 和子	埋田 広教
（故・市原ヨシ子様）	（故・古庄朝子様）	（故・安武アツ子様）	（故・漆尾ひろ子様）	（故・埋田しげえ様）
大津	平川	陣内	新	岩坂
様	様	様	様	様

久保田真喜子様
（故・久保田龍二様）

■社会福祉法人 大津町社会福祉協議会 ■大津町大字室1-15-1番地1(老人福祉センター内)
■電話 0505(800)8008 ■FAX 0505(800)8008 ■E-mail o-shakyo@wander.ocn.ne.jp
■ホームページ <http://o-shakyo.info/> ホームページへロゴ更新中



第1回地域福祉推進委員研修会

7月11日(火)に令和5年度第1回地域福祉推進委員研修会を実施しました。今回は地域包括支援センターより通いの場をはじめとする「地域の拠点づくり」の説明、本会より「地域福祉推進委員の役割」の説明と、片保区の地域福祉推進委員より「地域福祉推進委員の活動」を発表していただきました。発表者と参加者による意見交換を通じて、各地区のサロン運営の方法や困りごと、地域福祉推進委員と地域の関わりなどを共有することができました。

※地域福祉推進委員とは、町内の各行政区において、様々な福祉に関する活動をお手伝いするボランティアです。



大切な人を守るため…赤十字講習会 救急法・幼児安全法



日本赤十字社では「人命を救う方法」や「健康で安全に暮らすための知識や技術」を多くの人々へ伝えるため、さまざまな講習会を実施しています。

大津町分区では、6月13日の救急法講習会に14名、6月20日の幼児安全法講習会に13名の方が受講されました。講習会では病気や事故の応急手当やAEDを用いた心肺蘇生法の知識・技術などを学びました。

受講者からは「救急法は定期的に受講しないと忘れてしまう」「AEDの使い方や心肺蘇生のやり方を確認できて良かった」等の声が聞かれました。

講習会には皆様からご協力いただいた日赤活動資金の一部が活用されています。

救急法



▲誤嚥した際に気道に詰まった異物を
出す「背部叩打法」の様子



▲訓練用のAEDを使用し、心肺蘇生の
実技を行いました

幼児安全法



▲乳幼児に対する心肺蘇生も
人形を使って実技を行いました

各地で災害ボランティアセンターが設置されています

現在、大雨災害などにより全国の多くの地域で災害ボランティアセンターが設置されています。

災害に遭われた方のために「自分にも何かできることが…」と考えられている方がいるかもしれません。

各災害ボランティアセンターでは、その地域の被害状況に応じてボランティアの募集範囲を制限している場合があります。

下記のQRコードより災害ボランティアセンター設置状況と被災地が発信する最新の情報をご確認のうえ、参加をご検討ください。

全社協被災地支援・災害ボランティア情報▶



無理せず、ケガなく

粉塵

まれに短期間で病気を起こす恐れあり。→粉塵用のマスクやタオルでカバー

熱中症

大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お酒の飲み過ぎに注意!→水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩



破傷風

深い刺し傷に注意!→ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する

活動後はうがい・手あらい!

目に泥がよく入るので真水があると便利。



備蓄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまつた物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちや一人の声をあわせよう!お話をたっぷり聞こう!感謝と支援を継ぎ交ぜて!協力と休憩はしっかりとろう

認定NPO法人レスキューストックヤード資料より

▲水害にともなう泥出しや片付けの作業を行う場合には、マスク(防塵マスクなど)、ゴム手袋(厚手で長めのもの)、長靴などが必要です。コンタクト使用の方は、ゴーグルの装着も検討を。

災害ボランティア活動をされる場合はお住まいの地域でボランティア活動保険への加入をお勧めします

災害ボランティア活動中のケガや事故に備えてボランティア活動保険への加入を推奨しています。

災害復旧作業に尽力している被災地の負担を少しでも軽減させるため、可能な限りお住まいの地域で加入をお願いしています。また、出発地の社会福祉協議会で事前に保険に加入しておけば、被災地までの移動におけるけがなども補償対象となるので安心です。

ボランティア活動保険については、大津町ボランティアセンター【電話096(293)2027】までお問い合わせください

大雨災害などによる災害義援金を受け付け中!

被災地へ行けなくても
できる支援があります!

日本赤十字社と赤い羽根共同募金では、6月末から7月にかけての大震災などによる災害義援金を受け付けています。下記のQRコードより義援金の募集要綱などをご確認の上、ご協力をお願いいたします。

皆さまからお寄せいただいた義援金は被災県が設置する義援金配分委員会へ届けられます。

日本赤十字社 義援金情報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤い羽根共同募金 義援金情報



皆様からの温かい義援金、
よろしくお願ひいたします。





あなたのまちの ボランティアセンター

問い合わせ先 電話096(293)2027

おもいを届けよう！ふくしについて学ぼう！2023 ~ワークキャンプ代替事業~

本会が例年夏休み期間中に実施している社会福祉施設等体験事業(ワークキャンプ)は、町内の児童生徒さんが社会福祉施設等でボランティア活動に取り組む事業です。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となりましたが、町内の社会福祉施設等では、現在も面会制限など感染予防に尽力されています。引き続き施設での直接的な交流体験が難しいため、代替事業として、町内の小学生が作成した残暑見舞いカードを町内29施設の社会福祉施設等のご利用者さまへお届けしました。

また、8月10日、17日には中学生10人を対象に「認知症について」や「車いすの使い方」等の身近な福祉について学ぶ講座を予定しています。



小学生が作成した残暑見舞いカードの一部です。「熱中症に気をつけてください」など相手を思いやる気持ちが伝わってきます。

子育てふれあいカフェ&子ども栄養相談会 ~ボランティア団体活動紹介~

7月14日(金)、本会ボランティアセンターの登録団体である『NPO法人ペアレントネットワーク』主催の子育てふれあいカフェが老人福祉センターにて開催され、5組10名の親子が参加されました。子育て中に自分だけで頑張り過ぎることや、孤立することなく、楽しく育児を行えるようにとの思いで毎月第2金曜日に開催されています。参加は予約不要で、開催時間の午前10時から正午までは入退室自由です。

このカフェは、自分の時間を作るのが難しい子育て中の方たちが、子どもとスタッフがおもちゃで遊んでいる間にコーヒーやお茶を飲みながらほっこり一息つき、育児経験者のスタッフや他の参加者と日頃の悩みや疑問、他愛のない話などをすることができます。また、子どもの栄養や離乳食の進め方、子どもの発達など気になることを栄養や療育の専門職に相談することもできます。

参加者は「育児中は子どもと1対1で大人と話す機会が少ないので、こういった場所があることは大変助かります」と話されていました。

お子さんを連れての参加はもちろんですが、子育て中の方や、孫育て中の方などのおひとりでの参加も大歓迎とのことです。8月の子育てふれあいカフェはお休みで、次回は9月8日(金)開催です。ぜひお気軽にお越しください。



◆子どもたち同士で遊ぶ様子も見られました



◆畳のお部屋なのでハイハイ期の子どもや歩き始めの子どもも元気に動き回ることができます